令和6年度 香川の教育づくり発表会



令和6年12月26日 観音寺市立高室小学校

研究主題

感じ

-ICTを効果的に活用した 主体的に生きる人づくりー



認め つなぎ 学び合う子どもの育成



研究の具体

- (1) タブレット端末の授業や持ち帰っての活用の工夫
 - 〇 課題設定の場面での活用
 - 〇 交流場面での活用
 - 〇 振り返りでの活用
 - 〇 持ち帰っての活用
- (2) ICTを活用した個別最適な学びの工夫(自由進度学習)
 - 〇 3年算数「表とグラフ」
 - 〇 4年社会「自然災害からくらしを守る」
 - 〇 5年理科「ふりこのきまり」

課題設定の場面での活用

解決したくなる、自分事となる課題

- 〇 アンケート等 統計データ
- 〇 身近な事象 画像、動画

問いを生む発問

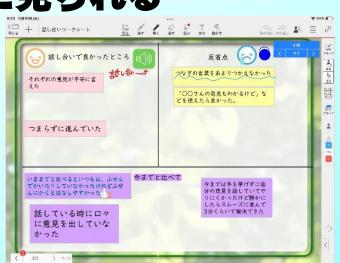




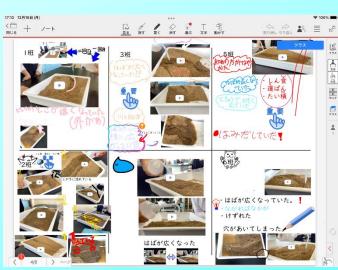
交流場面での活用

交流を通して新たな課題 学びが生まれる

- 〇 モニター機能(教師、子ども)
- 〇 友だちのノートを相互に見られる
- 〇 思考ツール
- 〇 グループ編集ページ





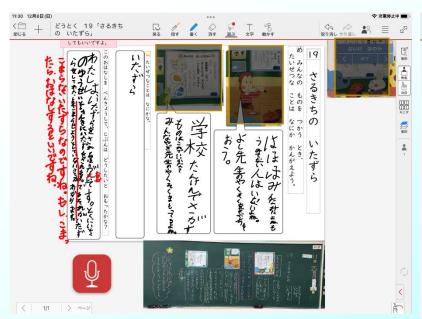


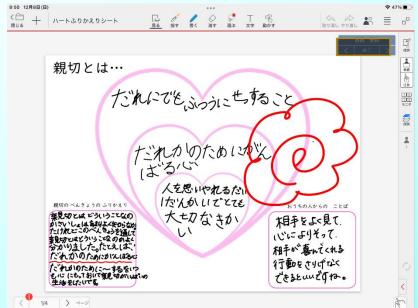
振り返りでの活用タブレットに集約、共有が可能

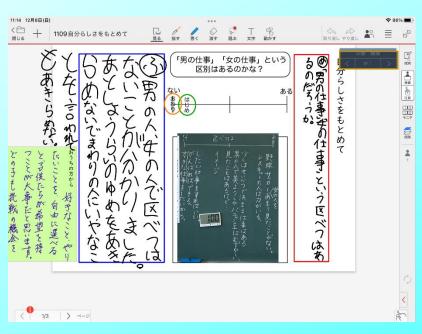
- 1年道徳
- ・ワークシートに板書写真
- ・音声でも記録可能

- 2年道徳
- ・チャートの活用
- おうちの人のことば

- 3年 人権・同和
- ・自己の変容の視覚化







持ち帰っての活用

連絡帳 〇オンライン(帰宅後、欠席時も配信可能) 〇テキスト 音声 動画 URLリンク



宿題 〇プリント(著作権クリア、配信可能)

- 〇録音(音読、計算カード)
- ○撮影(観察記録、家庭での実践など)
- 〇 無料学習サイト 市販ドリル無料サービス(漢字・計算) タイピング







持ち帰り実施までのステップ

環境整備

- 〇 全家庭のWi-Fi設置 未設置の家庭への市からの貸与
- O 充電器 学校から家庭へ (学校では教室に充電ブース)
- 〇 運搬ケース 書類ポーチに入れランドセル
- 〇 タッチペン 個人(安価タイプ) 4,5,6年(充電タイプを貸与)
- 〇 全保護者への説明と協力依頼 ※ 故障時の対応

ルール作り

- 〇 ルールの共有 ①大切に使う ②学習に使う ③自宅で使う(Wi-Fi)
 - ※ 問題行動を指導の機会ととらえて前向きに指導(弁償や罰は与えない)

デジタルシティズンシップ教育

- 〇 カリキュラムマネジメントを通して全校で共通理解・確実な実施
- 〇 外部人材の利用 出前授業

自由進度学習とは

- 〇 個に対応した指導方法
- 〇 全国に実践事例は数多くある
- 〇 学校規模や環境、教科、考え方によってタイプも様々

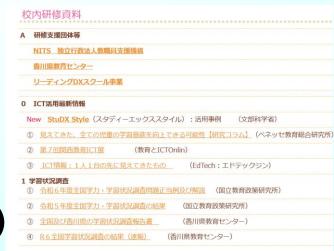
高室小の考える自由進度学習

(児童数125人・8クラス)

- 〇 ICTを効果的に活用して取り組む
- 〇 学習の進め方を子どもに委ねる(進度・場所・方法・内容…)
- 〇 単元学習プランを作り 子どもと共有する
- **〇 子どもが学習を進められる環境を準備・整備する**

自由進度学習のはじめ方

- 〇 情報収集はネットで(書籍も)
- 〇 先進校の実践事例(動画も)に学ぶ
- 〇 各種セミナー参加(NITS教職員支援機構)
- O タブレットで情報共有(共有フォルダ)
- 〇 ホームページで情報共有
- O ICT便りで最新情報提供
- 〇 環境整備
 - ・教材研究資料 他社の教科書
 - ・教室空間や教具、掲示物
- 〇 とにかくやってみる 教師の主体性





2 自由進度学習

3年 算数 「表とグラフ」 (1)

時間内自由進度単元学習プラン

- 〇 学習計画を子どもと共有
- 〇 毎時間の学習内容と目標を確認
- O 進度や学び方を記入していく
- 〇 教師はモニターで個々の進度を把握
- 〇 見取りと個別指導の手立て

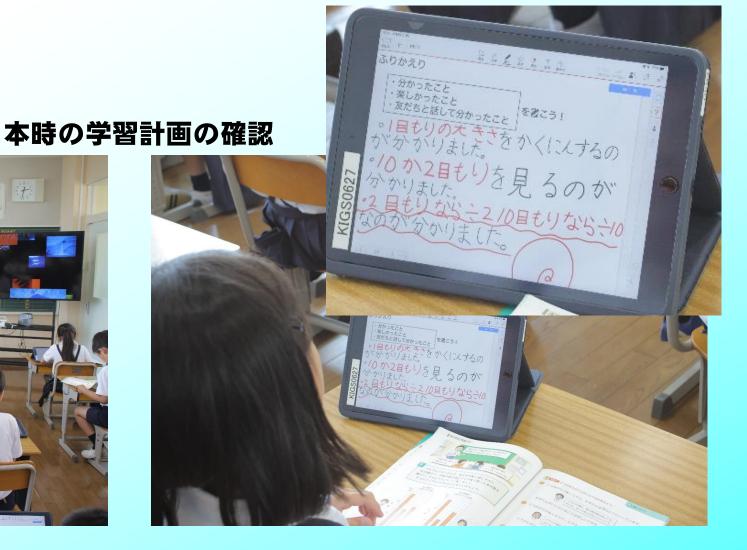


3年 算数 「表とグラフ」 (2)

導入 (一斉)

前時の振り返りから





「表とグラフ」(3) 3年 算数

(自由進度) 展開1

学び方 自分で・・・

先生と・・・

教科書 学習サイト 友だちと・・説明する、教え合う

わからないところは教えてもらう









3年 算数 「表とグラフ」 (4)

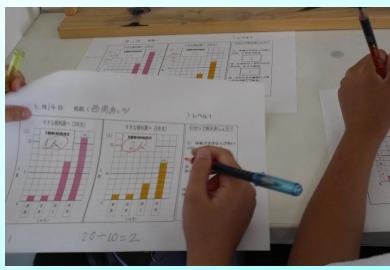
展開2(自由進度)

- **O** パフォーマンスチェック
- 〇 ジャンプ問題

基本の練習問題 自分で丸つけ 発展問題に挑戦する

振り返り(一斉)







3年 算数 「表とグラフ」 (5)

環境整備

〇 隣の空教室に ヒントコーナー 時系列の学習のまとめ ジャンプコーナー



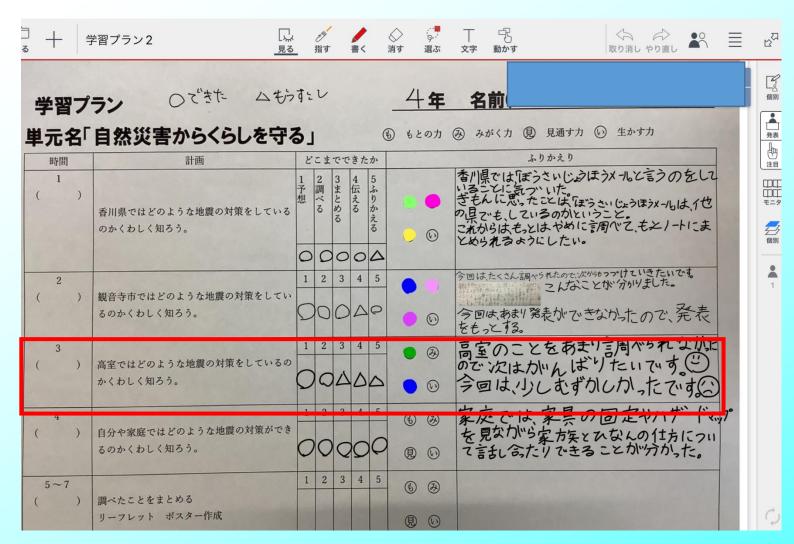


4年 社会 「自然災害からくらしを守る」 (1)

学習プラン 単位時間内自由進度

> 課題設定(一斉) 公助について 共助について 自助について まとめ(一斉)





4年 社会 「自然災害からくらしを守る」 (2)

何を委ねるのか

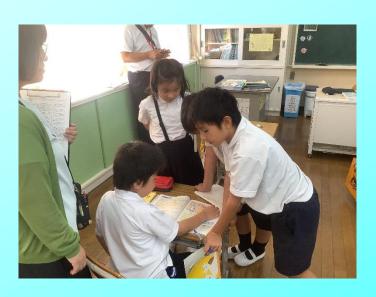
- O 手法 教科書で タブレット (インターネット) で ヒントコーナーで
- 〇 場所 自分の席で 席を離れて
- 〇 相手 自分で 友だちと 先生と
- 時間 ○時○分までに(時間配分)

子どもが自分で進められる準備 ICT

T 資料 コーナー







4年 社会 「自然災害からくらしを守る」 (3)

環境整備

ヒント 調ベコーナー



具体物 体験コーナー

5年 理科 「ふりこのきまり」 (1)

単元学習プラン

年 番 氏名 (

 \vdash

単元名 「ふりこのきまり」 🧸

時間↩	教科書↩	目標↩	授業の流れ↩	学習↩	ジャンプ↩	Ë
月日↩			個(1人で) 協(友達と)		(発展)	
1 ←	138~⊬	ふりこを作って曲のテンポに合わせる↩	一斉↩	p314	4	÷
₽	140∂					
2←	1414	ふりこの1往復する時間の調べ方↩	一斉↩	p324	4	<
↵	↵					
3⊬	143~	()によって1往復の時間は変わるかも	(自由進度) ←	p34のまとめ+	4	÷
↵	145₽	₹1	₽	(実験が終わっ	4	
4←		()によって1往復の時間は変わるか	(自由進度) ←	てからしよう) ←	↵	+
↩		←1	₽	↩	↵	
5੫		()によって1往復の時間は変わるかや	(自由進度) ←		ペンデュラム↩	÷
↵			선		学習プリント↩	
6੫	146⊬	決まりについてまとめる↩	一斉↩	p35. p36←	1秒ふりこ作り₽	÷
₽	148₽	*それぞれの実験結果が説明できるようにしよう!!↩		-		
7⊬	148⊬	1秒ふりこを作る↩	(自由進度) ←	↵		<
₽	151∂	ペンデュラムウェーブを作る↩	- 2	↵		
8੫	予備↩	₹3	(自由進度) ←	学習しめきり↩		<
↵			₽			





5年 理科 「ふりこのきまり」 (2)

実験・自由進度

場所 実験は教室・廊下 発展は隣の空教室

順序 調べたい条件から (重さ 長さ ふれ幅)

相手 同じ条件を選択したメンバーで

時間 最後の振り返りの時刻まで

授業展開

開始 実験 振り返り (一斉) (自由進度) (一斉)



5年 理科 「ふりこのきまり」 (3)

環境整備 (空教室)

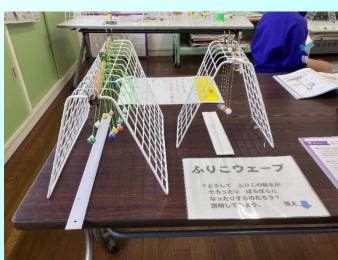
基本

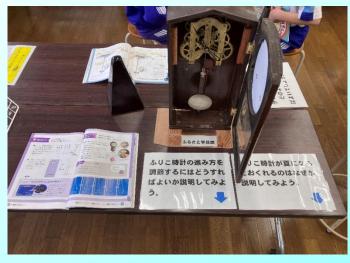
パフォーマンスチェック (知識・理解の確認) ※ セルフチェック

発展

2秒ふりこを作ろう 振り子時計を調整しよう ふりこウェーブを作ろう









5年 理科 「ふりこのきまり」(4)

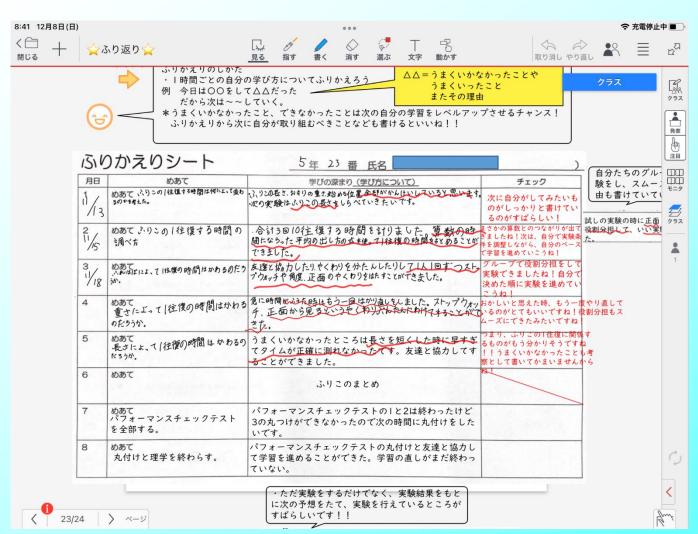
自由進度の中での評価

見取り(個別支援)

- 〇 見通し
- 〇 実験の進め方
- 〇 修正?

振り返り

- 〇 視点を明示
- 〇 個々にコメント
- 仮見しの共有(児童間でも)



多様な指導形態のベストブレンド

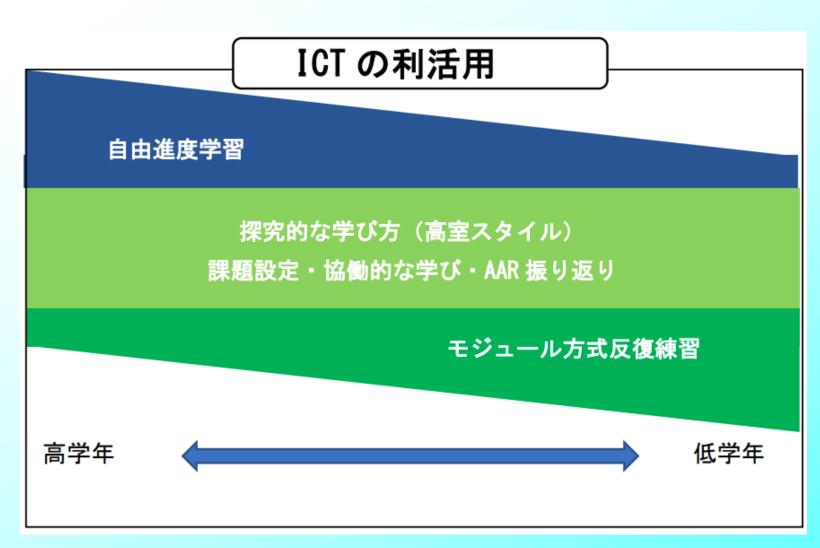
基本は高室スタイルの授業

- 〇 課題設定の工夫
- 〇 協働的な学び
- **〇 振り返り**

低学年では反復練習で 基礎・基本の定着

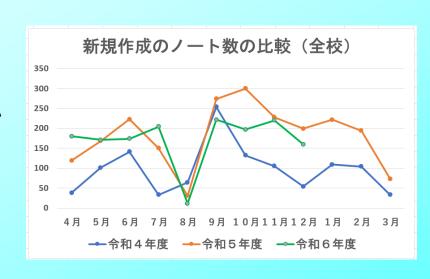
高学年では自由進度学習 で主体的に学ぶ力の育成

(先進校 学期に1単元)



成果(1)ICTの利活用

- 〇 タブレット端末の日常的な持ち帰りを始めて2年を過ぎ、連絡帳の活用を通して家庭にも浸透するとともに、教師の意識やICT活用スキルの差が縮小した。 持ち帰り 100%
- 〇 全校でICTの活用について共通理解を深め、教師による使用頻度の差が少ない。(少ないクラスでも週1回以上、考えをまとめたり発表したり、毎日、週2,3回以上のクラスがほとんど)
- O ICTを日常的に活用した授業があたりまえ になってきた。端末の利用、管理は子どもを 信頼し任せている。



成果(2)自由進度学習と高室スタイル

自由進度学習に取り組んだ3年生以上

〇 普通の授業と比べて分かりやすい	バですか?
-------------------	-------

・授業が分かりやすい	67%
・同じくらい	30%
・分かりにくい	3%

〇 自由進度学習の良いと思うところは? (複数回答可)

・自分のペースで進められる	75%
・楽しい	48%
・分かりやすい	32%

〇 自由進度学習の悪いと思うところは?

・自分ではどう進めていいかわからない	24%
・友だちといっしょに勉強できない	8%

・分かりにくい 6%

・特にない 62%

O 勉強が好き (R6全校) 84%



(※R5県5年 51.7%)

課題と改善策(1)利活用

- 〇 ハード面の維持管理
- ·液晶画面破損2/125(1.6%)
- ・ブラックアウト3/125 (2.4%)
- ・キーボード故障20/125 (16%) さらに増加中
- ・充電式タッチペン5/65 (7.7%)
- ・予備の確保

〇 教員のスキル維持

- ・毎年普通学級担任の1/3が異動
- ・現在の活用状況を維持するため、研修を改善
- ・特別な研修はせず、教師間で教え合う
- ・日常的な授業の相互参観で高め合う

〇 タイピング指導

- ・文字入力方法は児童に任せていた
- ・入力速度の個人差の拡大
- ・タイピングタイム、タイピング検定の導入を検討

課題と改善策 (2) 授業

- 〇 学習状況調査の正答率は県平均並みを推移している。 直ちに 大きく学力の向上が見られるわけではないが、長期的な取組を 継続する。
- 〇 多様な指導形態のベストブレンドを維持しながら、学力向上 の効果を検証していく。
- 〇 自由進度学習について、効果のある教科、単元を明確にする ために、研究を継続し、バランスの良い実施計画を作成する必 要がある。また、資料や教具、実践記録を継承し、授業準備の 効率化を図り、環境整備を進める。

